



「美食都市アワード」の授賞式。記念撮影
する日田市と協会の関係者＝日田市役所



「美食都市」 日田市が受賞

【日田】日田市は、豊かな食文化を軸としたまちづくりを表彰する本年度の「美食都市アワード」を受賞した。盆地特有の環境を生かした日田梨やスイカのほか、川魚、郷土料理、地元グルメの魅力と、情報発信の取り組みが評価された。

グルメの魅力、情報発信評価



アワードは、食文化を基盤とした地方都市の在り方を探究する有識者や雑誌編集者らでつくる「一般社団法人・美食都市研究会」（橋爪紳也代表理事・東京）が2024年度から開催している。対象は人口50万人以下の都市。自薦、他薦による候補から▽食べ歩きが楽しめる地区の形成▽地元生産者と特産品の活用▽独自の飲料や料理人養成機関の存在―など10項目で審査している。日田市は食文化などに詳しい審査員からの推薦で候補となった。

6月29日、市役所で授賞式があった。同会役員や市内の料理人ら14人が出席。橋爪代表理事（大阪公立大特任教

市長「大きな励み」



（刀根徹朗）

授が「これまで14都市が受賞し、いずれも全国に誇れる食文化が根付いている。互いに高め合えるつながりをにつけていきたいとあいたした。賞状とトロフィーを受け取った棕野美智子市長は「日田の食を支える生産者、料理人、事業者の長年の努力が評価され、大きな励みになる」と謝辞を述べた。

式後、同市限の老舗日本料理店「春光園」で食の交流会があった。関係者は天然アユの塩焼きやアユの塩から「うるか」に舌鼓を打った。

本年度は他に北海道余市町、青森県八戸市、岐阜県飛騨市が受賞した。



〔問①〕記事の内容をふまえて、次の文章の（ ）の中にあてはまる語句を書いてください。

- 1.日田市が受賞した「美食都市アワード」は、人口（ **50万人** ）以下の地方都市を対象に審査されている。
- 2.日田市が評価されたのは、盆地特有の環境を生かした日田梨やスイカ、川魚などの魅力と、その（ **情報発信** ）の取り組みである。
- 3.日田市長は、この受賞について「日田の食を支える（ **生産者** ）、料理人、事業者の長年の努力が評価された」と感謝を述べた。

〔問②〕写真にある「たらおさ」とは、どんな料理でしょうか。調べて、説明文を書いてください。

タラのエラと胃を干したもので、大きな歯ブラシのような独特の形状が特徴。保存技術や交通インフラが整っていない時代、海の幸を食べようと思っても、乾物や塩漬けにしたものしか食べられなかった日田・玖珠地方で食べられている。お盆によく登場する。

〔問③〕あなたが自分の住むまち（または大分県）の食文化を全国にアピールする美食大使だとしたら、どの食材や郷土料理を一番におすすめしますか。その魅力を紹介してください。

とり天をおすすめしたいです。どこにでもありそうな料理ですが、大分を代表する郷土料理として定着しています。鶏肉の揚げ物ですが、サクサクの衣にポン酢をつけて食べると、いくらでも食べられます。大分県特産の力ボスを搾って食べるのも最高です。